

## 第20回茨城県支部学術集会

学術集会会長：総合病院土浦協同病院院長 酒井義法

2019年9月21日(土)JA茨城県厚生連土浦協同病院附属看護専門学校に於いて第20回茨城県支部学術集会を開催しました。本学術集会では多職種の方



会場風景

から働き方に関しての様々なアイデアを提示していただき、働き方改革に負けない職場づくりを一緒に考えていきたいと考え、テーマは「働き方から考える医療マネジメント」としました。

特別講演では東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科医療政策情報分野学教授 伏見清秀先生から「地域医療データから見るこれからの茨城県地域の医療」という私たちに大変身近で関心のある内容で、教育講演では日本看護協会看護研修学校校長 吉村浩美先生から「看護職の働き方改革—この時代に求められる働き方—」というヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を踏まえた看護師の働き方についてご講演をいただきました。パネルディスカッション「働き方から考える医療マネジメント—活力ある職場を創りだすための工夫—」(4演題)・一般演題(86演題)では様々な施設、様々な視点からの活発な発表、討論が行われ、600名を超える参加者の有意義な研鑽の場となりました。また、ランチョンセミナー5演題・企業展示15ブースの共催もあり盛会裏に終了することができました。

開催にあたり、ご支援、ご協力をいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

## 第18回島根支部学術集会

学術集会会長：松江赤十字病院院長 大居慎治

2019年9月28日(土)くにびきメッセにおいて、日本医療マネジメント学会第18回島根支部学術集会を開催しました。テーマは「これからの地域医療



会場風景

連携～その人らしさを大切にするケア～」とし、320名の皆様にご参加いただきました。

特別講演では宮崎県立日南病院の木佐貫篤先生に「地

域医療連携のこれまでとこれから～多職種連携を越えて社会連携へ～」と題してご講演いただき、ランチョンセミナーでは電気通信大学の田中健次先生に「医療の自動化に潜む落とし穴」と題してお話いただきました。シンポジウムでは「その人らしさを大切にする医療・介護連携」をテーマに4名の皆様にそれぞれの立場からご発表いただき、今話題のACPを始めとした医療・介護連携について理解を深めました。

また、ポスター発表では46題の発表があり、それぞれの取り組みの報告・意見交換が活発に行われました。

ご参加いただいた皆様、ご支援ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝とお礼を申し上げます。

## 分科会等開催案内

### 2019年度クリティカルパスワークショップ

テーマ：クリティカルパスを正しく理解し、病院運営に役立てよう

クリティカルパスが日本に導入されて20有余年になります。臨床の現場に活用され、医療の質向上に大きく貢献していることは皆の認めることと思います。

日本医療マネジメント学会が行っているアンケート結果をみるとクリティカルパスは200床以上の病院の約9割で導入され、各病院で使用されているクリティカルパスの数も増加しています。

一方、同じアンケートから組織としての取り組みのあり方、紙クリティカルパスから電子カルテクリティカルパス移行時の問題等々現場においての運用にさまざまな問題が生じていて苦労されていることがわかりました。

本ワークショップは各施設でクリティカルパスの運用に携わっている方々が夫々の問題を持ち寄り、意見を交換し問題の解決をはかることを目的に企画されました。

クリティカルパスの実務担当者、できれば各施設から複数の御参加を頂きたいと考えています。

多数の御参加をお待ちします。

・日時 2020年2月8日(土)13:00～2月9日(日)12:00

・場所 医療法人創起会くまもと森都総合病院  
5階大会議室

(〒862-8655 熊本市中央区大江3丁目2番65号)

・プログラム

第1日目 2月8日(土)

13:00 受付開始

13:30 開会

講演 I

「クリティカルパスの普及と課題」

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義